# 3.住民ニーズの把握

# 3-1 市民意識調查

1週間に1~2日程度 33.7

1年に数回

不明 ₩2.2

1か月に2~3日程度

1か月に1日程度

まった〈利用しない

旧豊田市市民意識調查 (平成 15 年度調査 = 第 15 回調査 / 平成 17 年度調査 (仮集計) = 第 16 回調査)

- 豊田市のよくないところ、嫌いなところとして「交通の便が悪い」が最も高い値を示している。これは、 他の項目と比べても倍以上に高く、市民は交通の便に対して高い不満をもっていると考えられる。
- ▶ 鉄道・路線バスの利用は1年に数回の利用か全く利用しない人が多く、公共交通の利用が極めて低いことが伺える。
- 豊田市内の現在の公共交通については、不満と思う割合は高く、合併による交通不便地域の拡大によりその割合は増加している。また、現在の公共交通対策としても不満度は高く、今後の対策強化を望んでいる。
- 公共交通の利用促進のための環境改善方法としては、運行本数、路線新設・変更、料金改善、バス停数、 運行時間帯の改善度が上位を占める。

豊田市市民意識調査:市内居住者約5000人(無作為抽出)に対して毎年実施しているアンケート調査で住民ニーズの把握や 行政評価に利用している。なお、合併後の新市としての同様の調査を継続し、H17.10に実施している。



29.2

22.9



40





公共交通利用促進に対する改善方法







# 3-2 市民の外出頻度

旧町村地域の人の動き調査から(拡大無し:実サンプル数集計による)

# 【通院目的】

▶ 全体的には1ヶ月に数回、もしくはほとんど行か ないものが多いが、高齢者に限ってみれば週1~2 日が17%と高くなる。

### 【買物・娯楽等】

- ▶ 平日では週2日以上の割合が概ね50%を占める。
- ▶ 休日についてはほぼ毎週の割合が 50%を占める。

平日通院頻度(旧町村地域)										
平日外出頻度(通院目的)										
	0%	20%	40%		60% 80		100%			
藤岡地区(N=585)		D.4%	37.8%			43.4%	0.9%			
小原地区(N=289)	4.5% 3.8% 1	1.1%	36.7%	6		43.6%	0.3%			
足助地区(N=573)	4.43.5 <mark>%7</mark> .	7%	41.4%			42.1%	1.0%			
下山地区(N=338)	3.8 30% 1	3.0%	32.8%		44	4.1%	33%			
旭地区(N=271)	26 9.6	1%	37.3%		4	6.9%	0.7%			
稲武地区(N=303)	3 <mark>.3266.3</mark> 9	6	40.6%		4	5.2%	2.0%			
全地区65歳以上	2.5 <mark>5.</mark> 2%	17.4%		53.7%		2	0.3%			

□ ほぼ毎日 □ 1週間に3~4日 □ 1週間に1~2日 □ 1ヶ月に数日 □ ほとんど行かない □ その他

#### 平日外出頻度(買物等日常目的) 20% 40% 60% 80%

買物・娯楽等の頻度(平日・休日)(旧町村地域)

藤岡地区(N=601)	19.1%	25.3%		29.	5%	10.6%	14.6%	0.8%	
小原地区(N=288)	10.8%				22.	6%	28.1%		0.7%
足助地区(N=609)	14.1%	18.7%	26	5.4%		17.1%		23.2%	0.5%
下山地区(N=335)	6.9% 14.0%	2	8.7%		20.	0%	29	.6%	0.9%
旭地区(N=264)	10.6%	32.6	%		22.3	%	30	.7%	0.0%
稲武地区(N=287)	12.2% 12.9	9%	26.5%		19.5%		28.6%		0.3%
□ ほぼ毎日 □ 1週間に3~4日 □ 1週間に1~2日 □ 1ヶ月に数日 □ ほとんど行かない □ その他									

# 休日外出頻度(買物等日常目的)

0	% 20	0% 4	10%	6	0%	80%	10	00%
藤岡地区(N=2172)		53.2%		14	1.0%	14.4% 26	% 15.5%	0.3%
小原地区(N=440)	- 4	4.5%	1	1.4%	20.9%	3.6%	18.9%	0.7%
足助地区(N=971)	40	5%	15	.6%	23.0	% 3.0%	16.7%	1.3%
下山地区(N=540)	-	48.0%	1	13.5%	15.0		18.5%	0.0%
旭地区(N=367)	33.5%	1	5.0%		28.3%	6.3%	16.3%	0.5%
		· · · · ·	1					
稲武地区(N=422)	31.0%	15	.9%	2	8.9%	5.9%	17.3%	0.9%

□ 1週間に1~2日 □ 1ヶ月に4~5日 □ 1ヶ月に2~3日 □ 1年に数日 □ ほとんど行かない □ その他

1009

# 3-3 公共交通のサービス水準と住民意識

旧町村地域の人の動き調査から(拡大無し:実サンプル数集計による)

#### 交通機関の選択理由

### 【平日の日常的交通】

▶ 自動車は自由度が高い理由から利用する割合が半数程度を占め、公共交通の不便さを理由に するものが 30~40% である。

100%

▶ バスを利用する理由については、便利であると感じるものと、他の手段が無いことを理由に するものに大きく分かれる。

#### 交通機関選択の要因



# 【バスの非利用理由】

- ▶ 自分で自動車を運転できるこ とを理由にするものが最も多 11
- ▶ 料金も含めたサービスレベル の低さを理由にするものが 20 ~30%程度である。
- ▶ 旧町村地域では路線そのもの が無いことによる理由も多い。

### 【バスの利用理由】

▶ バスを利用する理由は、他の交 通手段がないことによるもの が半数程度を占める。



# バスの利用・非利用主要因

#### バスの利用・非利用理由(旧町村地域)

#### バスのサービス水準要望(旧町村地域)

バスの利用・非利用者別サービス水準要望

【運行日】

▶ 現在のバス利用の有無に関わらず、ほぼ毎日の運行を望んでいる。

### 【運行本数】

▶ 1時間に1本以上の運行を望むものが半数程度を占めているが、現在バスを利用していないものの方が 比較的高いサービスレベルを要望しており、旧町村地域の中でもバス利便性が高い藤岡・足助地区で その傾向が強い。

#### 【運行時間帯】

- ▶ 始発の時間帯は、90%程度が7時以前を望んでいる。
- ▶ 最終の時間帯は 20 時または 21 時台を望むのが多いが、旧町村地域の中でも比較的豊田市の中心部へ の利便の高い藤岡・足助地区の方が、さらに遅い時間帯までの運行を望んでいる割合が高い傾向にあ る。











□ 20時まで運行 □ 21時まで運行 □ 22時まで運行 □ 23時まで運行 □ 24時まで運行

バスの利用・非利用者別サービス改善後の利用意向

# 【バスの非利用者 - 転換の可能性】

▶ バス利用に転換すると考えられる割合は20%程度である。

バスサービス改善後(仮想)の利用意向

- ▶ サービス水準が改善されても、明らかに利用しないものも 20~30%の割合を占める。
- ▶ 実際に運行されなければ分からないこともあり、利用の意向が不確定なものの割合が高くなってい る。

#### 【バスの利用者 - 利用頻度の向上】

現在バスを実際利用しているものにとっては、サービスレベルが向上すればバス利用頻度が高くなる。 との意識がある。



■ ぜひ利用したい ■ おそら〈利用する ■ 今後、利用するかもしれない ■ 利用したいが、利用できない ■ 利用するつもりはない ■ その他



# 3-4 バス交通に関する利用者意識(バス利用実態アンケート調査から) 現在のバスの満足度

- ▶ 交通圏の基幹路線を担う名鉄バスやさな げ足助バスは、満足・不満の割合が同程 度となっている。
- ▶ 都心部の公共施設を結ぶ短距離路線の中 心市街地バスは満足度が高い。
- ▶ ともえ号や豊田福祉バス、あいまーるは、 運行日が限定され、本数も少ないものの 利用者満足度は極めて高い。
- ▶ 旭地区、小原地区の地域バスの満足度が 他の地域バスと比べて満足度が低い。

#### 現在のバスの改善要望

- ▶ 全体的に運行本数や運行時間帯のサービ スレベルの改善を望む割合が高い。
- ▶ 都市部の名鉄バスでは、バスの遅れの改 善要望が高い。
- ▶ 旭バス、小原バスについては運賃の改善 要望が高い。
- ▶ 比較的サービスレベルが高く、ワンコイ ン運賃の路線は運賃の不満は無い。
- ▶ 福祉バスやあいまーるなどでは、特にバ ス停の改善要望が高い。
- ▶ 地域を巡回するふれあいバスでは運行ル ートの改善要望も比較的高い。

#### バス利用者の満足度



#### バス利用者の現在のバスの改善要望

